

4 LX(ローカル・トランスフォーメーション)の推進

(4) 産業競争力の強化 ② カーボンニュートラル実現に向けた自動車産業及び船舶産業等への支援

国への提案事項

カーボンニュートラル実現に向けた地域の実情に応じた支援

- カーボンニュートラルを起点とした付加価値創出に向けて、自動車の付加価値向上に必要な不可欠な車載用蓄電池等に係る研究開発、製造、それらの拠点整備に加え、蓄電池に必要な周辺・関連部品が近隣で製造できるよう、地域企業に対する技術開発や人材の育成・確保、共用設備の整備などに係る支援を中長期的に行うこと。
- 車載用電池製造をはじめとする、地域の自動車産業の電動化シフトに必要な、カーボンニュートラルなエネルギー確保のほか、調達価格の地域格差が生じないように支援すること。
- LCA(※)によるカーボンニュートラル達成に向けた「自動車産業の電動化シフト」及び「造船産業の燃料転換」を進めるうえで、輸出産業が不利益を被らないように、諸外国の動向も踏まえたCO₂排出量の可視化の統一的なルールや規格を策定すること。

※LCA(Life Cycle Assessment): 製品やサービスのライフサイクルを通じた環境への影響を評価する手法

- 小水力発電の導入促進のため、新工法の開発や設備の標準化等による導入コスト削減に向けた開発支援をすること。

【提案先省庁: 経済産業省、国土交通省】

現状／県の取組状況等

《自動車産業の現状》

- 県内サプライヤーと完成車メーカーの合併会社が設立されるなど、県内で電動駆動ユニットの開発・生産に向けた動きがある。

《船舶産業の現状》

- 県内造船企業による、水素船・LNG船等の次世代燃料船の開発が開始されている。

【県の取組状況】

- 本県では、カーボンニュートラルを起点とした付加価値創出実現のため、主要産業である自動車産業の電動化対応及び船舶産業の代替燃料への転換へ向けた支援に取り組んでいる。
- 特に、自動車産業の電動化に向けては、EV研究プロジェクトを立ち上げ、サプライヤーの技術提案力強化・開発人材の育成を推進している。

【カーボンニュートラルへ向けたものづくり産業支援事業】
コンサルティング企業による伴走型支援(20社)

【ものづくり価値創出支援事業】
(補助率、限度額)

重点:2/3以内、5,000万円

(デジタル化、CNIに係る新分野展開・事業転換)

一般:1/2以内、5,000万円

【次世代ものづくり基盤形成事業】

自動車サプライヤーの技術シーズ探索等への支援・開発人材等の育成

- 本県では、地域に存在する未利用水力を活用した小水力発電の普及促進に取り組んでいる。

課題

- 本県の主要産業である自動車産業及び船舶産業の競争力の維持・向上のためには、LCAによるカーボンニュートラル達成が必要であり、電動化や代替燃料への転換等に取り組む地域企業の課題は多岐にわたるため、地域や企業の実情に応じた多様な政策的支援が望まれる。
- 電動化に係る主要な関連部品について、完成車メーカー周辺地域で開発・製造する必要があるが、電動化に向けて動き始めた本県の実情を鑑みると拠点整備には時間を要する。
- 本県では、サプライヤーの技術提案力強化に向けた支援を行っているところであるが、開発に取り組む地域企業では、「人材」、「資金」、「カーボンニュートラルなエネルギー」の確保が課題となっている。
- 地域産業がカーボンニュートラルを起点とした付加価値を創出し、国際競争力の向上を図っていくためには、統一的なルールや規格の早急な策定が望まれる。
- 小水力発電の普及に際して、水量があっても設置費用が高く採算性が取れないため、事業者等が関心があっても検討段階で頓挫するなど、導入が進んでいない。